

2018年度第2四半期決算説明資料

証券コード：5332

2018. 10. 29

目次

1. 2018年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2018年度修正計画

2018年度第2四半期決算概要

ハイライト

減収、減益。

グローバル住設事業（日本）：減収減益

- ◆リモデル、新築ともに減収減益。

グローバル住設事業（海外）：売上高横ばい・減益

- ◆中国は市場環境の変化、新商品立上げ遅れ等の影響で減収減益。
- ◆アジアは増収増益。

新領域事業：増収増益

- ◆セラミック事業は引き続き需要が強く、増収増益。

2018年度第2四半期決算概要

P/L概要

単位：億円

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替 影響額	為替影響除 (前年比)		
売上高	2,813	2,810	▲3 (▲0%)	+4	▲7 (▲0%)	2,930	▲120 (▲4%)
営業利益 [営業利益率]	224 [8.0%]	180 [6.4%]	▲44 (▲20%)	+2	▲46 (▲20%)	207 [7.1%]	▲27 (▲13%)
経常利益	239	201	▲38 (▲16%)	+7	▲45 (▲19%)	216	▲15 (▲7%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	150	132	▲18 (▲12%)	+6	▲24 (▲16%)	136	▲4 (▲2%)

■為替レート

	2017年度		2018年度		2018年度 当初計画
	1Q	2Q	1Q	2Q	
1ドル	113.6円	111.1円	108.2円	109.1円	106.0円
1元	16.6円	16.2円	17.0円	17.1円	17.0円
1ユーロ	121.1円	122.3円	133.1円	130.0円	133.0円

2018年度第2四半期決算概要

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	2,014	1,992	▲22 (▲1%)		▲22 (▲1%)	2,060	▲68 (▲3%)
住設事業 (海外)	665	665	+0 (+0%)	+7	▲7 (▲1%)	703	▲38 (▲5%)
新領域	132	151	+19 (+14%)	▲2	+21 (+16%)	166	▲15 (▲9%)
その他	1	1	▲0		▲0	1	+0
合計	2,813	2,810	▲3 (▲0%)	+4	▲7 (▲0%)	2,930	▲120 (▲4%)

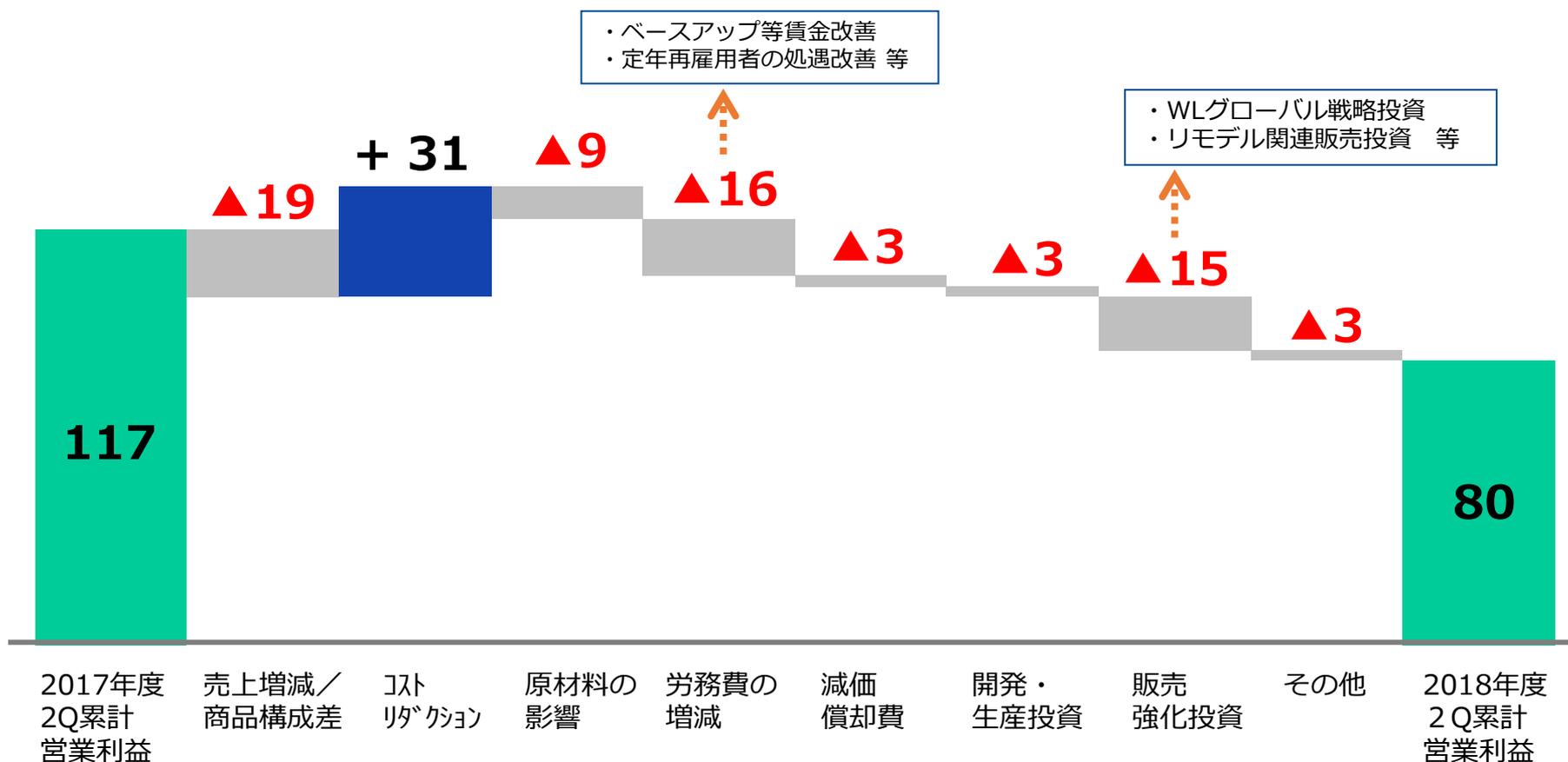
<営業利益>	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 (前年比)		
住設事業 (日本)	117	80	▲37 (▲31%)		▲37 (▲31%)	94	▲14 (▲14%)
住設事業 (海外)	120	110	▲10 (▲9%)	+2	▲12 (▲11%)	120	▲10 (▲8%)
新領域	2	6	+4 (2.4倍)	▲0	+4 (2.5倍)	9	▲3 (▲30%)
その他	▲15	▲16	▲1		▲1	▲16	▲0
合計	224	180	▲44 (▲20%)	+2	▲46 (▲20%)	207	▲27 (▲13%)

2018年度第2四半期決算概要

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲37億円の内訳）

単位：億円



計画差	▲27	▲1	+1	+0	+3	+6	+5	▲1	▲14
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2018年度第2四半期決算概要

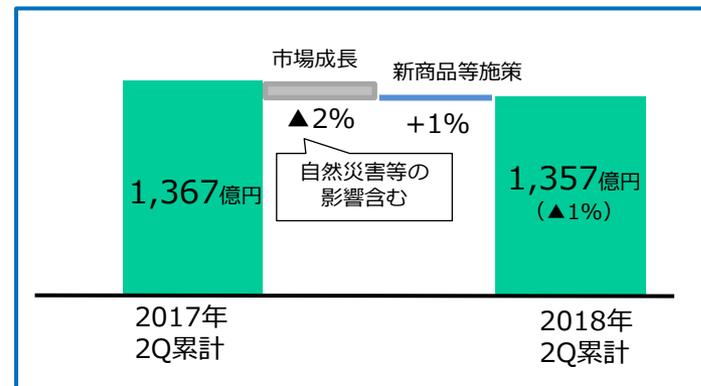
グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	1,367	1,357	▲10 (▲1%)
営業利益	96	66	▲30 (▲31%)
営業利益率	7%	5%	▲2pt



<新築>

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	647	634	▲13 (▲2%)
営業利益	21	14	▲7 (▲33%)
営業利益率	3%	2%	▲1pt

【需要】	2018年度2Q累計	着工
	住宅	▲2%
【売上高】	2018年度2Q累計	合計
	住宅	▲3%
	非住宅	▲0%

リモデル、新築ともに減収減益。
リモデル市場は想定以上に伸び悩んだ。新築(住宅)は需要並み。

2018年度第2四半期決算概要

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
衛生陶器	419	416	▲3 (▲1%)	36	27	▲9 (▲24%)
ウォシュレット	459	456	▲3 (▲1%)	64	55	▲9 (▲14%)
水栓機器	424	415	▲9 (▲2%)	23	16	▲7 (▲31%)
浴室	464	461	▲3 (▲1%)	6	▲0	▲6
キッチン・洗面	209	204	▲5 (▲2%)	▲12	▲10	+2
その他	37	37	▲0 (▲1%)	▲1	▲7	▲6
合計	2,014	1,992	▲22 (▲1%)	117	80	▲37 (▲31%)

全商品減収。キッチン・洗面は体質改善により赤字幅縮小。

2018年度第2四半期決算概要

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	343	336	▲7 (▲2%)	▲19 (▲6%)
アジア	146	149	+3 (+2%)	+3 (+2%)
米州	156	159	+3 (+2%)	+8 (+5%)
欧州	18	19	+1 (+9%)	+0 (+1%)
合計	665	665	+0 (+0%)	▲7 (▲1%)
営業利益	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	84	77	▲7 (▲8%)	▲10 (▲12%)
アジア	26	29	+3 (+8%)	+2 (+8%)
米州	15	10	▲5 (▲32%)	▲4 (▲29%)
欧州	▲6	▲6	▲0	▲0
合計	120	110	▲10 (▲9%)	▲12 (▲11%)

グローバル住設事業（海外）で売上高横ばい、減益。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差（前年比）
売上高	2,083	1,964	▲119(▲6%)
営業利益	553	478	▲75(▲14%)
営業利益率	27%	24%	▲3pt

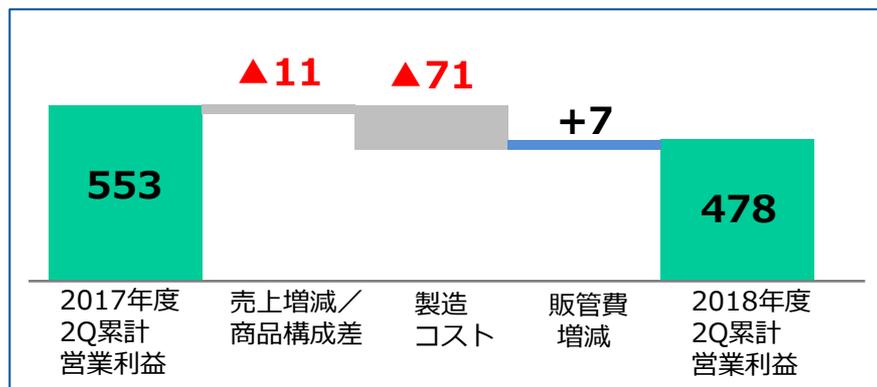
第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同期比▲24%

⇒市場環境の変化、新商品立上げ遅れの影響が継続。

為替レート	2017年度2Q	2018年度2Q	2018年度計画
1元	16.2円	17.1円	17.0円

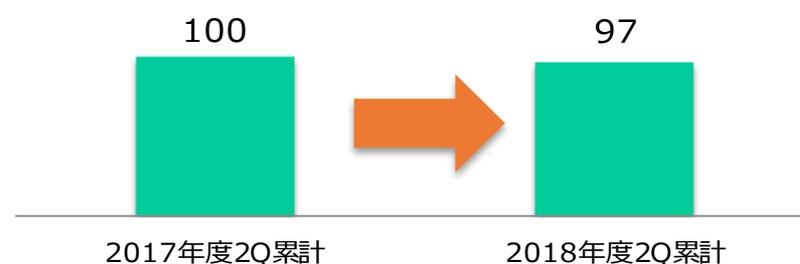
営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数伸長

2017年度2Q累計を100とした指数



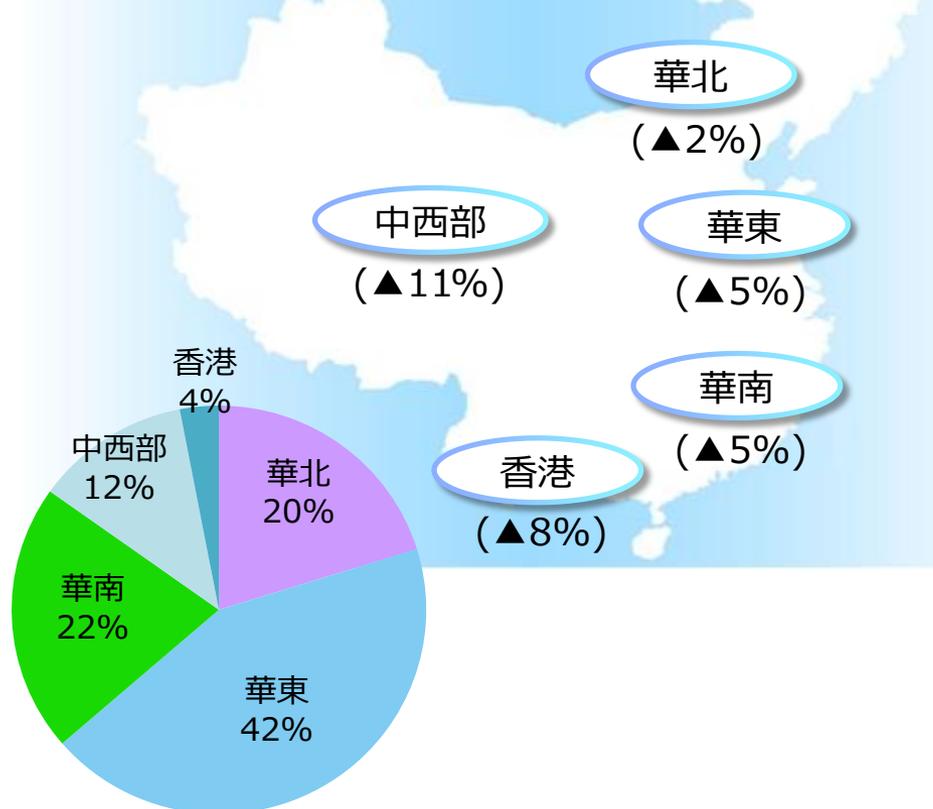
市場環境の変化及び、新商品立上げ遅れにより減収減益。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：▲6%（現地通貨ベース）

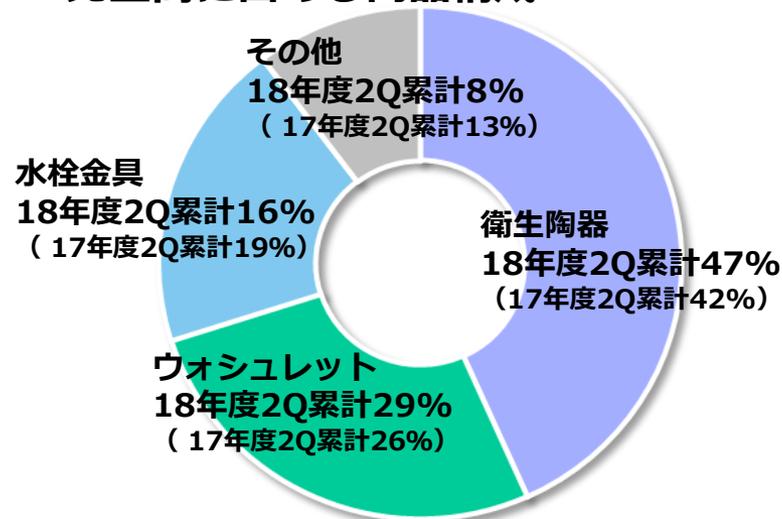


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+1%
ウォシュレット	+2%
水栓金具	▲23%

■ 売上高に占める商品構成



全エリア減収。商品別では水栓金具が前年割れ。

2018年度第2四半期決算概要

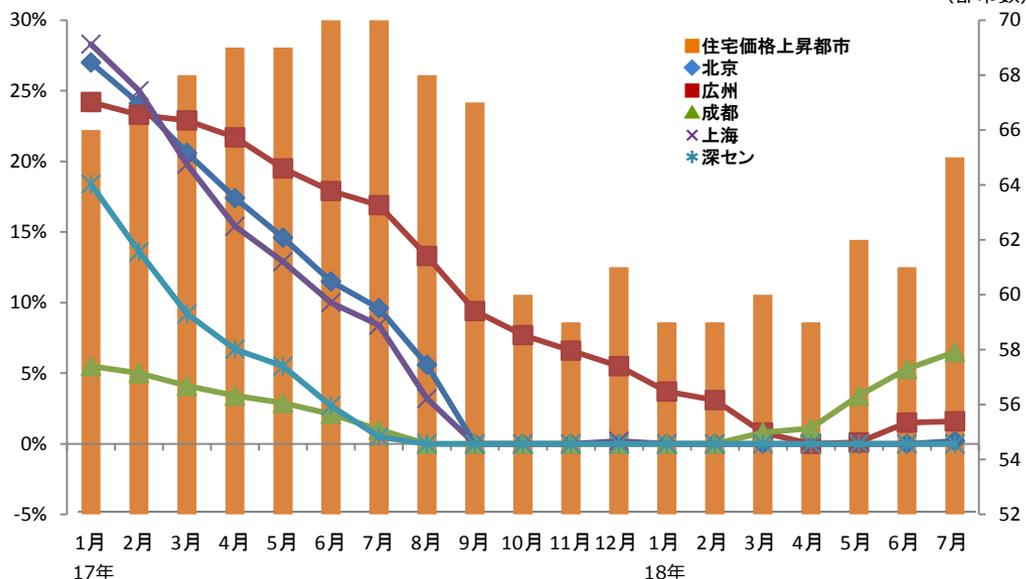
現地グループ会社の業績（中国）：現状分析

■ マクロ環境

一線都市を中心として不動産販売規制強化の影響により高級物件が大幅減少。現在も一線都市の住宅価格は上昇していない。

一方、主要70都市の価格推移を見ると2017年末を底に、住宅価格は上昇傾向にある。二線都市以下は販売規制が緩く、住宅価格は上昇に転じている。

■ 一線都市の住宅価格推移・主要70都市における住宅価格上昇都市数の推移（対前年）（都市数）



中国国家统计局データをもとに作成

■ 内部要因

① 新商品立上げ遅れによる衛生陶器の成長の鈍化

➡ 2018年4月発売予定の新商品の発売延期

② 住宅市況の変化への対応遅れ

➡ 二線都市以下の需要への供給不足

③ 水栓金具の売上減少

➡ 昨年の新商品による大幅伸長（対前年+26%）の反動減。

マクロ環境の影響により、主軸としている高級物件が減少した。加えて需給バランスが悪化し、機動的な対応がとれなかった。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

単位：百万台湾ドル

台湾	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	1,784	1,664	▲120 (▲7%)
営業利益	409	410	+1 (+0%)
営業利益率	23%	25%	+2pt

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は、前年同期比+5%

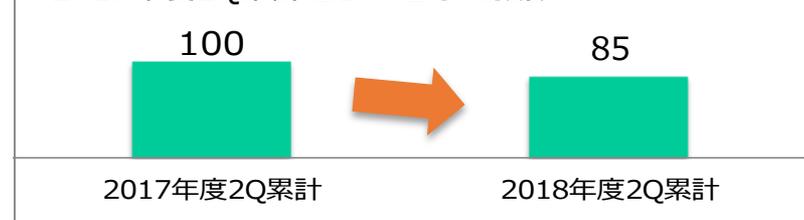
単位：10億ドン

ベトナム	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	1,494 [929]	1,709 [960]	(+14%) (+3%)
営業利益	309	271	▲38 (▲12%)
営業利益率	21%	16%	▲5pt

第3四半期(7月～9月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比▲20%
⇒17年度の反動と一時的な集約物件減によるもの。

■ウォシュレット販売台数の伸長

2017年度2Q累計を100とした指数



第2四半期(4月～6月)：夏のセール前のため買い控えの影響があった。

第3四半期(7月～9月)：+70%の見込。

為替レート	2017年度2Q	2018年度2Q
1台湾ドル	3.68円	3.67円

為替レート	2017年度2Q	2018年度2Q
1ドン	0.00484円	0.00477円

台湾の新築市場は下げ止まりが見られるが、2Q累計では前年を下回る。
ベトナムは新衛陶工場稼動に伴う減価償却費増により減益。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

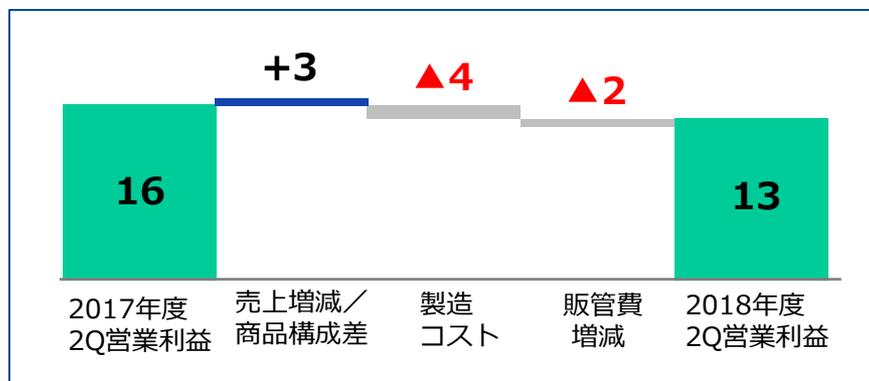
	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差(前年比)
売上高	139	147	+8(+5%)
営業利益	16	13	▲3(▲18%)
営業利益率	12%	9%	▲3pt

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は
前年同期比+5%

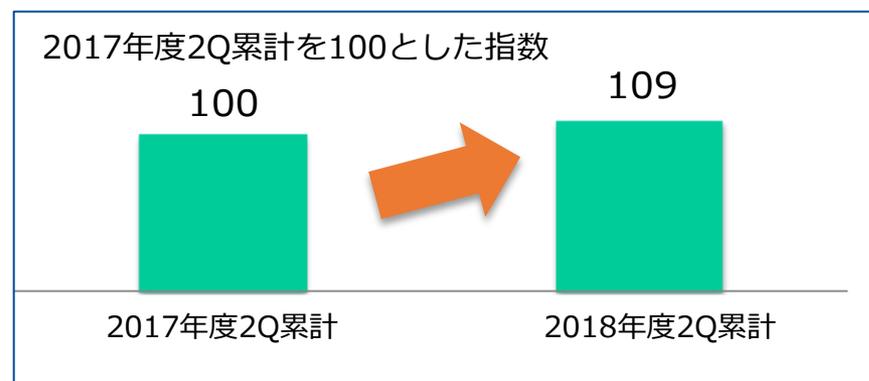
為替レート	2017年度2Q	2018年度2Q	2018年度計画
1ドル	111.1円	109.1円	106.0円

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレット：販売台数の伸長



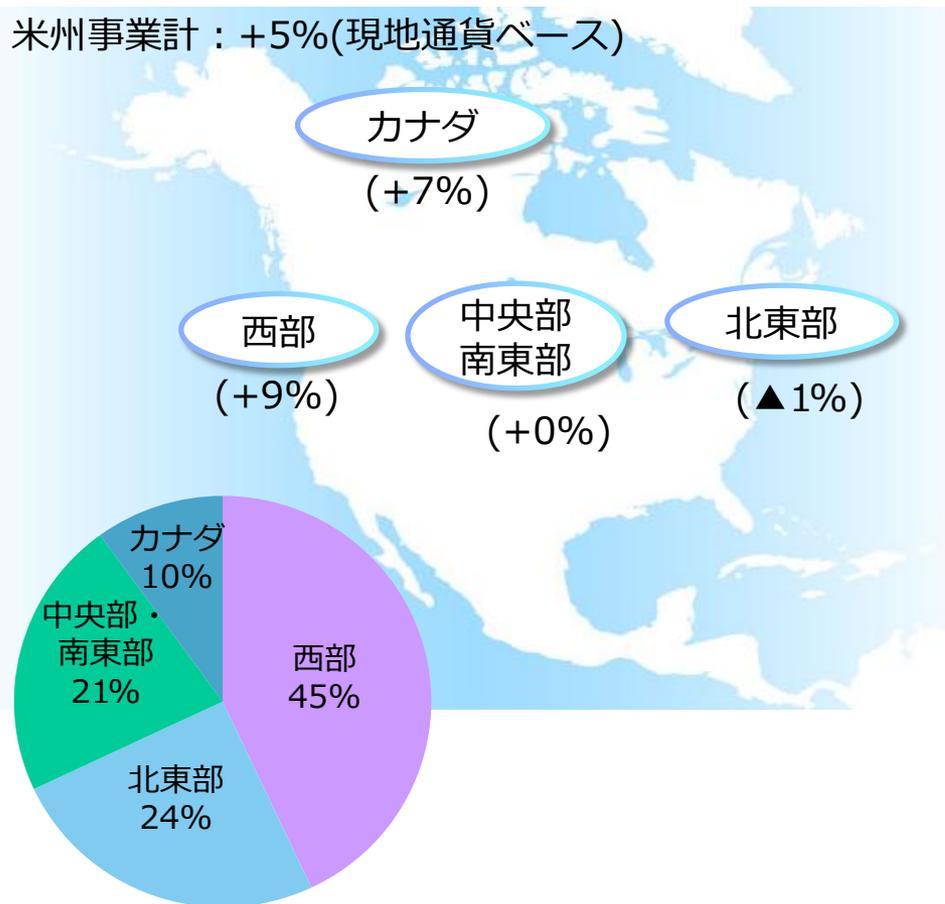
ウォシュレットの好調等により増収。製造コスト・販管費増により減益。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績(米州)

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+5%(現地通貨ベース)

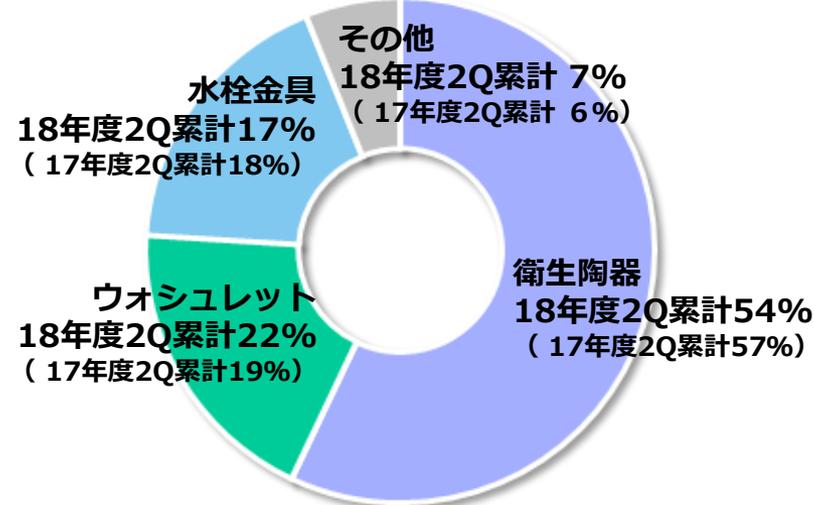


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲2%
ウォシュレット	+21%
水栓金具	+6%

■ 売上高に占める商品構成



ウォシュレットが引き続き伸長。

2018年度第2四半期決算概要

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)
売上高	14	13	▲1 (▲2%)
営業利益	▲4	▲4	+0

為替レート	2017年度2Q	2018年度2Q	2018年度計画
1ユーロ	122.3円	130.0円	133.0円

第3四半期(7月～9月)の売上高伸長率は前年同期比▲6%

■著名物件採用事例：フランス（パリ）Musée du Louvre ルーブル美術館



世界中から年間約800万人が訪れる、ルーブル美術館に大便器の他、ウォシュレット、洗面器、小便器等が採用されている。

減収、営業利益横ばい。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2018年度第2四半期決算概要

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	92	114	+22 (+23%)	▲2	+24 (+26%)
営業利益	5	8	+3 (+72%)	▲0	+3 (+74%)

環境建材事業

単位：億円

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 (前年比)
売上高	40	37	▲3 (▲7%)		▲3 (▲7%)
営業利益	▲2	▲2	▲0		▲0

セラミック事業は半導体製造装置向けの商品が引き続き好調、増収増益。

目次

1. 2018年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2018年度修正計画

社外からの評価

■ ESG投資指標「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に7回目の選定

世界の代表的なESG投資指標である「Dow Jones Sustainability Indices」の「World Index (DJSI World)」の構成銘柄に選定。同銘柄への選定は7回目。アジア・太平洋地域版の「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄にも10年連続で選定。

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM 

DJSI : 米国S&P Dow Jones Indices社とスイスの社会的責任投資に関する調査専門会社「RobecoSAM社」が提携して開発した指標。「経済」「環境」「社会」の3つの側面から企業を分析し、企業の持続可能性（サステナビリティ）に優れた各産業分野の上位約10%の企業が選定される。
今年度は、世界の大手企業約2,500社の中から317社（うち、日本企業は当社を含む34社）が選定。

目次

1. 2018年度第2四半期決算

2. トピックス

3. 2018年度修正計画

2018年度修正計画

ハイライト

上期実績と足下の状況を踏まえ、通期計画を下方修正。

修正計画：売上高：5,920億円 営業利益450億円

売上高：280億円の下方修正

（上期120億円の下方修正に加え、下期160億円の下方修正）

営業利益：90億円の下方修正

（上期27億円の下方修正に加え、下期63億円の下方修正）

2018年度修正計画

P/L概要

単位：億円

	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響額		当初計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	5,923	5,920	▲3 (▲0%)	▲11	+8 (+0%)	6,200	▲280 (▲5%)
営業利益 [営業利益率]	526 [8.9%]	450 [7.6%]	▲76 (▲14%)	▲0	▲76 (▲14%)	540 [8.7%]	▲90 (▲17%)
経常利益	543	480	▲63 (▲12%)	+7	▲70 (▲13%)	560	▲80 (▲14%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	367	340	▲27 (▲8%)	+7	▲34 (▲10%)	380	▲40 (▲11%)
ROA	9.4%	7.8%	▲1.6pt			9.3%	▲1.5pt
ROE	11.7%	9.9%	▲1.8pt			11.0%	▲1.1pt

■為替レート

	2017年度		2018年度	2018年度 当初計画
	3Q実績	4Q実績	下期修正計画	
1ドル	111.0円	113.0円	110.0円	106.0円
1元	16.6円	17.1円	16.3円	17.0円
1ユーロ	130.4円	133.0円	133.0円	133.0円

上期実績と足下の状況を踏まえ、通期計画を下方修正。

2018年度修正計画

セグメント別

単位：億円

<売上高>	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替	為替影響除
				影響額	前年差(前年比)
住設事業 (日本)	4,256	4,300	+44 (+1%)		
住設事業 (海外)	1,379	1,306	▲73 (▲5%)	▲7	▲66 (▲5%)
新領域	284	311	+27 (+9%)	▲4	+31 (+11%)
その他	2	3	+1		
合計	5,923	5,920	▲3 (▲0%)	▲11	+8 (+0%)

当初計画	計画差
4,336	▲36 (▲1%)
1,505	▲199 (▲13%)
357	▲46 (▲13%)
2	+1
6,200	▲280 (▲5%)

<営業利益>	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替	為替影響除
				影響額	前年差(前年比)
住設事業 (日本)	286	265	▲21 (▲8%)		
住設事業 (海外)	263	192	▲71 (▲27%)	▲0	▲71 (▲27%)
新領域	13	29	+16 (2.2倍)	▲0	+16 (2.2倍)
その他	▲37	▲36	+1		
合計	526	450	▲76 (▲14%)	▲0	▲76 (▲14%)

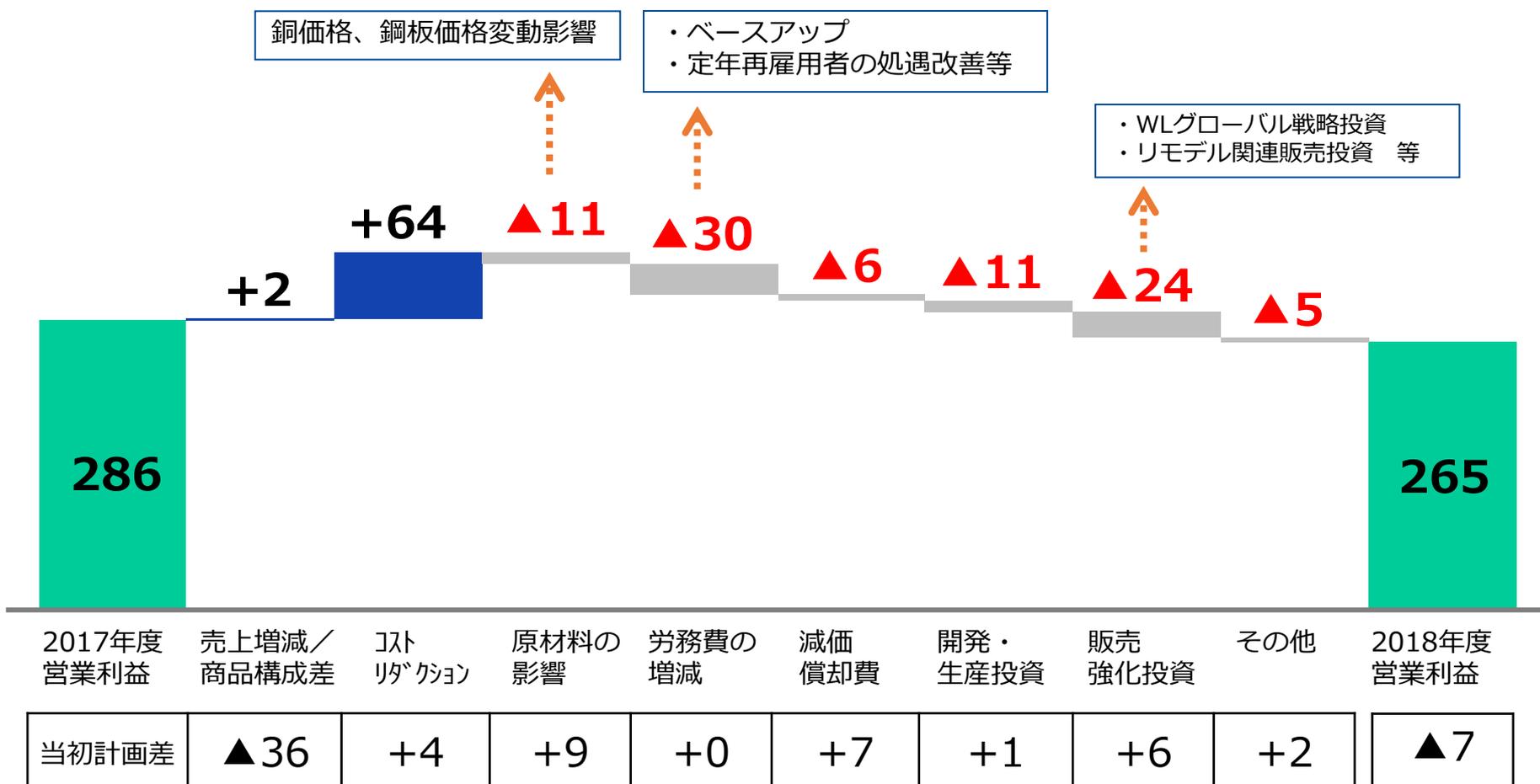
当初計画	計画差
272	▲7 (▲3%)
268	▲76 (▲28%)
35	▲6 (▲17%)
▲35	▲1
540	▲90 (▲17%)

2018年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因(前年差異 ▲21億円の内訳)

単位：億円



2018年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

需要別

<リモデル>

	2017年度	2018年度 修正計画	前年差（前年比）	2018年度 当初計画	計画差
売上高	2,901	2,926	+25（+1%）	2,968	▲42
営業利益	247	227	▲20（▲8%）	235	▲8
営業利益率	9%	8%	▲1pt	8%	▲0pt

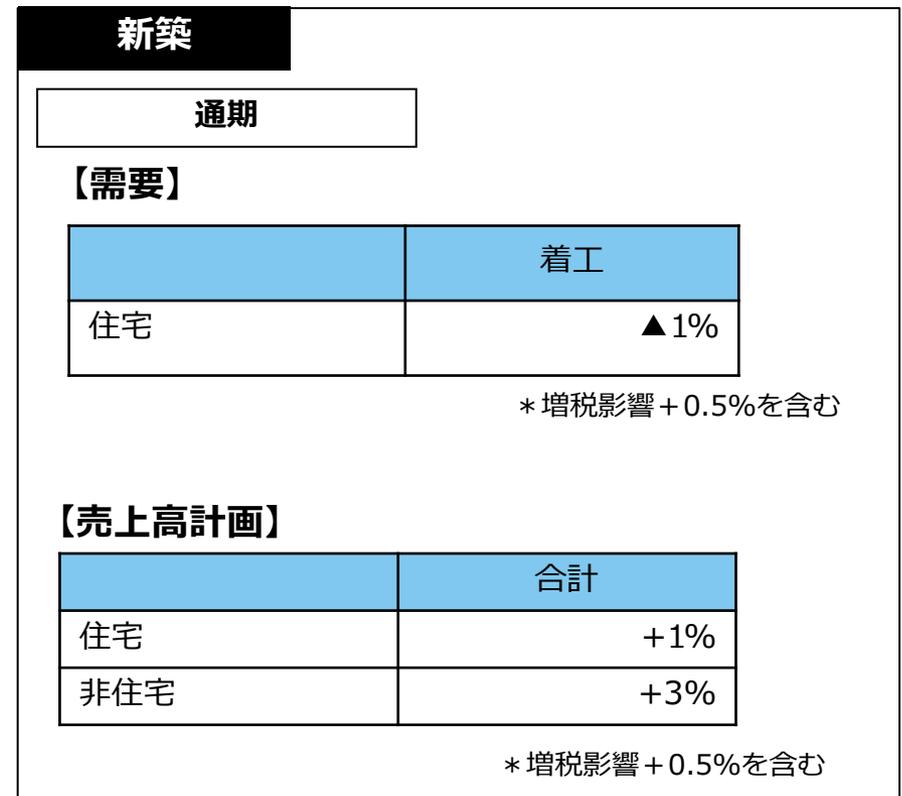
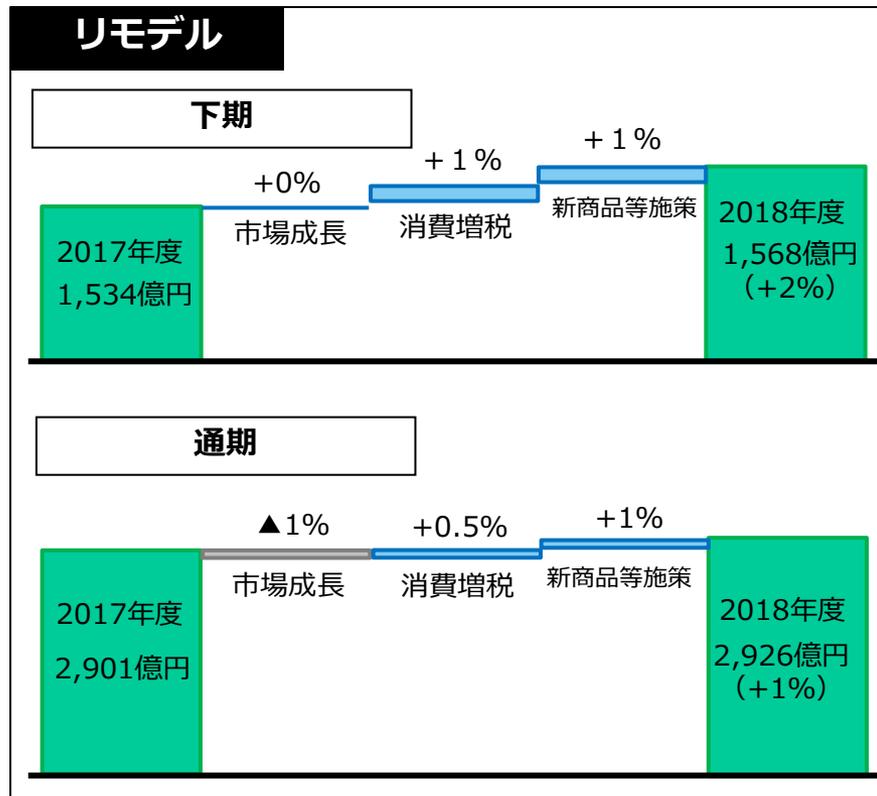
<新築>

	2017年度	2018年度 修正計画	前年差（前年比）	2018年度 当初計画	計画差
売上高	1,354	1,373	+19（+2%）	1,367	+6
営業利益	39	37	▲2（▲5%）	36	+1
営業利益率	3%	3%	▲0pt	3%	+0pt

リモデル・新築ともに増収計画。
リモデルは当初通期計画に対し下方修正、新築は計画並み。

2018年度修正計画

グローバル住設事業（日本）：リモデル・新築の計画について



リモデルは、市場成長・新商品等施策効果ともに前年伸長の計画。
 新築は、住宅着工を上回り、前年伸長を計画。
 なお、消費増税に伴う駆け込み影響は18年度下期に+1%織り込み、
 19年度上期にも織り込む予定。

2018年度修正計画

グローバル住設事業（日本）

単位：億円

商品別実績

	売上高			営業利益		
	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)
衛生陶器	899	908	+9 (+1%)	88	78	▲10 (▲12%)
ウォシュレット	951	966	+15 (+2%)	141	137	▲4 (▲3%)
水栓機器	937	942	+5 (+1%)	66	60	▲6 (▲10%)
浴室	942	960	+18 (+2%)	16	11	▲5 (▲31%)
キッチン・洗面	430	439	+9 (+2%)	▲19	▲13	+6 (-)
その他	95	85	▲10 (▲11%)	▲5	▲8	▲3 (-)
合計	4,256	4,300	+44 (+1%)	286	265	▲21 (▲8%)

全商品で増収を計画。

2018年度修正計画

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2017年度	2018年度 修正計画	前年差(前年比)	為替影響除 前年差（前年比）	当初計画	計画差
中国	719	623	▲96 (▲13%)	▲99(▲14%)	800	▲177
アジア	316	328	+12 (+4%)	+15(+5%)	343	▲15
米州	307	317	+10 (+3%)	+17(+6%)	319	▲2
欧州	35	38	+3 (+6%)	+0 (+2%)	43	▲5
合計	1,379	1,306	▲73(▲5%)	▲66(▲5%)	1,505	▲199

営業利益	2017年度	2018年度 修正計画	前年差(前年比)	為替影響除 前年差（前年比）	当初計画	計画差
中国	181	133	▲48(▲27%)	▲49 (▲27%)	195	▲62
アジア	67	55	▲12(▲18%)	▲12 (▲18%)	62	▲7
米州	25	16	▲9(▲37%)	▲8(▲34%)	23	▲7
欧州	▲10	▲12	▲2 (-)	▲1 (-)	▲12	+0
合計	263	192	▲71(▲27%)	▲71(▲27%)	268	▲76

経営環境の変化等により、中国・アジア・米州で下方修正。
発売延期の中国の新商品は2019年4月に全シリーズ発売予定。

2018年度修正計画

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	前年差の調整		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	200	226	+26 (+13%)	▲4	+30 (+15%)	267	▲41
営業利益	17	30	+13 (+72%)	▲0	+13 (+72%)	33	▲3
営業利益率	9%	13%	+5pt			12%	+1pt

環境建材事業

単位：億円

	2017年度	2018年度 修正計画	前年差 (前年比)	前年差の調整		当初計画	計画差
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	84	84	+0 (+0%)		+0 (+0%)	90	▲6
営業利益	▲4	▲1	+3 (-)		+3 (-)	2	▲3

一時的な供給過剰状態の反動を受け、セラミック事業を下方修正。

当初計画に変更なし（配当性向 44.8%）

	2017年度	2018年度	当初計画
中間	36.0円	45.0円	45.0円
期末	36.0円	45.0円	45.0円
年間計	72.0円	90.0円	90.0円
配当性向	33.1%	44.8%	40.1%

このプレゼンテーション資料は、2018年10月29日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO